



『月刊京都』(白川書院) × 溝縁ひろし (PHOTO-HOUSE ぶち) コラボ企画

京都・島原「輪違屋の伝統美」特別見学

— 溝縁ひろし「島原いまむかし」写真展と太夫ミニ撮影会 —

※お申込方法の詳細は裏面に。

4 17 金 18 土 19 日 ※撮影会は19日のみ



京都・島原「輪違屋の伝統美」特別見学

—溝縁ひろし「島原いまむかし」写真展と太夫ミニ撮影会—

4月17日(金) 18日(土) 19日(日) ※撮影会は19日のみ

京都には、芸妓・舞妓さんの在籍する祇園甲部・宮川町・先斗町・上七軒・祇園東の五花街と、もうひとつの花街、太夫さんがいる島原があります。先頃、京都市は、これら花街を「京都をつなぐ無形文化遺産」として選定しました。ことに島原は天正時代より続く日本最古の花街。幕末の志士、新撰組や文人墨客が集った、まさしく桃源郷です。

4月、島原に残る唯一の置屋・お茶屋である輪違屋にて「島原いまむかし写真展と太夫のミニ撮影会」を開催します。輪違屋は京都市指定文化財で江戸期の元禄時代の創業。近藤勇などの直筆の書などもあり、「傘の間」「紅葉の間」などは目を見張る美しさです。『月刊京都』(昭和25年創刊 発行所：白川書院)でも特集を組ませていただいたばかりで、花街の写真家として知られる溝縁ひろし氏撮影「島原今昔の写真」も大好評でした。

輪違屋さまのご協力で実現したまたとない企画です。ご参加をお待ちしております。特に太夫ミニ撮影会は予約が必要です。人数にも限りがありますので、お早めにお申し込みください。

<特別見学+写真展>

4月17日・18日の2日間 <写真家・溝縁ひろし氏、両日とも在廊>

- 4月17日(金) 12:00-16:00 (受付は15:40まで) *予約必要なし
- 4月18日(土) 12:00-16:00 (受付は15:40まで) *予約必要なし

内容：「傘の間」など輪違屋室内特別見学と写真展 参加費：2,500円(税込) ※ポストカードなど記念品付き

<太夫撮影会+特別見学+写真展>

4月19日のみ <写真家・溝縁ひろし氏解説、撮影指導>

- 4月19日(日) ①13:00 ②14:15 *要予約。先着各25名

内容：太夫のかしの式、お茶席、舞い、室内と写真展の見学。撮影会(約20分)

参加費：17,000円(税込) ※ポストカードなど記念品、お茶、お菓子付き

*注意事項 一脚、三脚は使用不可。建物2階の「傘の間」などは文化財につき、撮影はご遠慮ください。撮影した太夫さんの写真などは、ブログインターネットなどでの掲載はお断りしています。

■ 4月19日 <太夫撮影コース> *2月9日(月)より受付開始。

申し込み・お問い合わせは白川書院 電話 075-406-0011 へ。

(受付時間 平日/土日祝を除く 午前9:30~午後5:00)

- 希望時間をお教えてください ①13:00~ ②14:15~
- 名前・住所・携帯電話番号・FAX番号等をお伝えください。
- 受付後、弊社より詳細をご案内いたします。

予約お申し込み方法



*太夫撮影会は先着順としていますが、参加人数のバランスにより弊社で調整させていただき、ご案内することがあります。あらかじめご了承ください。

*当日の太夫は未定です。2階「傘の間」での太夫撮影は行いません。

■ 輪違屋へのアクセス

京都市下京区西新屋敷中之町

JR 嵯峨野線「丹波口」駅より徒歩約10分

市バス「島原口」より約5分

「梅小路公園前」より約7分

主催：白川書院、PHOTO-HOUSE ぶち



溝縁 ひろし (みぞぶち ひろし)

1980年写真事務所「PHOTO-HOUSE ぶち」設立。1994年JPS関西展運営委員長。2000年・2002年キルギス国立美術館、2004年ワシントンDC、2011・2012年ドイツ・ミルテンベルク市で写真展開催。国内外で活動中。京都の四季や祭、特に京都の花街の撮影は四十年以上続けている。主な著書『京の花街』『京都五花街』『京舞妓・宮川町』『四国八十八カ所』など多数。現在、日本写真家協会会員、NHK文化センター京都写真教室講師。